

柴北川プロジェクト通信39号

——花いっぱい長谷祭りへの参加——

平成27年6月21日(日)

共助研が参加する恒例イベントの一つである、『花いっぱいの長谷まつり【合同田植会】Part11』について報告します。共助研が参加して6年目となりました。

今回の参加メンバー 全 9名(大分県外8名、大分県内1名)

木寺、波木、濱田、森脇、山下、武市さん親子、山口さん(武市さんの友人)、波多野(波木さんは、豊後大野市制施行10周年記念特別講演会に参加のため途中から参加)

【当日のプログラム】

- 10:00～ 手植えによる「田植え」
- 12:00～ 昼食
- 12:30～13:30 黒松神楽「貴見城」「五穀米」
- 13:30～ 体操
- 14:00 片付け・解散

1. 田植え

昨年は、雨の中の田植えでしたが、今回は、梅雨前線の南下により1週間以上降り続けていた雨が前日から治まり、天候に恵まれた田植えになりました。

いつものように旧長谷小学校へ集合し、田植えの準備をし、田植え会場へ移動です。



共助研

今回声掛けさせていただいた大分市立西の台小学校から、62名（子ども33人、大人29人）、18家族が参加していただきました。18家族のうち6家族は、過去の田植えと稲刈りに参加していただいたリピーターです。

田んぼに集合したところで、主催者である「柴北川を愛する会」の穴見会長から開会挨拶。



いつものように「柴北川を愛する会」の稲作班長の安藤さんから田植えの手ほどき。



「柴北川を愛する会」副会長の赤峰豊後大野市議からの掛け声で、田植え前のきれいな姿で集合写真を撮りました。



写真右側の柴北川は降り続いた雨のため、水が引かずまだ荒れていました。

それでは、いよいよ田んぼに裸足で入ります。田んぼの感触を確かめながら小さな子もお父さんに手を引かれて一生懸命に歩いていきます。



いつものとおり、もち米の苗から植え始めます。



だんだん慣れてきました。



生き物観察チームがいつも間にかできていました。



あと少しです。

最後まで頑張った子にインタビュー



2. 昼食と黒松神楽

お楽しみの昼食は、柴北川レディースが作られた「炊き込みご飯」と「惣菜もろもろバイキング」です。レディースの方々は、メニュー構成に苦労されていて「偉大なるマンネリ」と思われているようですが、この昼食を楽しみにイベントに参加している方も多数いると思います。共助研のメンバーは皆そうですし、西の台小学校ととろクラブの部会でもこの料理は「おいしい」と話題です。



惣菜を取った人から、待望のお昼御飯です。食べているときはみんな静かです。



本日の神楽の演目は、「貴見城」、「五穀米」でした。神楽が始まると昼食が済んだ子どもたちは、ステージのまわりに集まってきました。



「貴見城」が終わった後にみんなで記念撮影です。お父さんお母さんがたくさん写真を撮っていました。この写真を見ると長谷を思い出してもらえると良いですね。



いよいよお楽しみの演目「五穀米」です。子ども達はお菓子を入れる袋を忘れずに準備しています。



神楽が終了後、豊後大野市ケーブルテレビの企画で集合ビデオを撮りました。今年で豊後大野市が誕生してから10年です。市内各所のイベント開催の際には、集ってもらい、「豊後大野市は今年で10周年！！」とみんなで声をそろえるという企画です。穴見会長の掛け声で3回撮りました。ケーブルテレビの放映は、6月26日～7月2日に放映されています。



3. 体操

今日は、参加者も主催者側も早朝からの疲れをほぐしましょうということで体操をしました。子どもの準備を朝からしたお父さんやお母さん、柴北川レディースも「麦の唄」に合わせて体をほぐしました。



4. おわりの会

楽しかった『花いっぱいの長谷まつり【合同田植会】Part11』もいよいよ終わりの時間となりました。会の進行をされた渡邊さんから、子どもに今日の感想をインタビューしましたが、子ども達は恥ずかしそうでした。



最後に参加した各団体の代表から一言いただき、「今日の日はさようなら」をみんなで合唱し、秋の稲刈りでの再会を約束して散会となりました。



大分市立西の台小学校
ととろクラブ部長
松原さん



共助研長谷プロジェクトリーダー
木寺さん



柴北川を愛する会 会長
穴見さん

5. 「柴北川を愛する会」と「共助研」との意見交換会

共助研の木寺リーダーより、「新しい合同プロジェクトの開始（案）」ということで4つの具体案について説明が行われました。

参加者

「愛する会」：穴見会長、渡邊事務局長他9名

「共助研」：木寺リーダー、波木事務局長他7名

(1) 身近な植物（野草、樹木等）・再発見プロジェクト

(2) 山桜等植樹活動プロジェクト

(3) 「プレーパーク」プロジェクト

(4) 春夏秋冬、自然活用イベント開催プロジェクト



6. 感想

今回は参加者が多く、田植えの列が最大時には、80人を越えていました。昼食も大変好評でしたし、神楽の演目も地域外の方々が覚えてきているのがよくわかりました。けがや事故もなく無事にイベントが終了することが出来てよかったです。いつも楽しませていただいている「黒松神楽」の皆さん、おいしいお弁当を作って頂いた「柴北川レディース」の皆さん、運営企画いただいた「柴北川を愛する会」の皆さんありがとうございました。

もう11回目のイベントとなり、運営企画をされる「柴北川を愛する会」の方は、マンネリを感じているという話を聞きます。しかし、そのマンネリは初めて参加する人にとっては、初体験であり、発見があると思います。例えば、「田植えのやり方」、「裸足で田んぼに入る」、「農作業の大変さ」、「食べ物を栽培する大変さ」、「農作業で汗をかく気持ちよさ」、「子どもとの共同作業」、「田んぼで生きものに会う」、「田園風景」、「里山への郷愁」、「懐かしさ」、「共同作業の後にみんなでご飯を食べる」、「地域の産品料理」、「日本の原風景」、「自分にはない田舎」・・・等。これは、いつも長谷に行けばこのような体験ができるという安心感につながるのではないかと思います。個人的には、このイベントはこの内容で充実していると思います。参加した方が、様々な思い出を胸に『長谷』を後にして、また同じ顔と秋に会える事を期待して今回の報告を終わります。（文責：波多野）